

JForest

森林組合だより

令和元年6月30日

発行

第 124 号



第25回 通常総代会

本荘由利森林組合

由利本荘市水林381

TEL 0184-24-4141(代) FAX 0184-24-4143

HP <http://www.honmori.com/> メール honmori@trad.ocn.ne.jp

第25回 通常総代会 開催

【令和元年5月30日 ホテルアイリス】

令和元年5月30日（木）ホテルアイリスを会場に、第25回通常総代会を開催しました。

小松組合長の挨拶に続いて、秋田県議会議員三浦英一様、由利地域振興局長様（代理）、農林中央金庫秋田支店長様（代理）、秋田県森林組合連合会代表理事会長様（代理）から御祝辞をいただきました。

多くの総代の皆様にご出席いただき、議長には大内地区総代の小野勇氏が選任され議事が進行されました。

《総代会出席者》

本人出席…… 172人
書面議決…… 83人
委任出席…… 0人

合 計…… 255人
総代現在数…… 300人



◎議案審議

議案第1号から議案第7号及び付帯決議までの審議が行われ、全議案とも原案どおり決定されました。



【第25回 通常総代会議案】

- 第1号 平成30年度業務報告書の承認について
 - 第2号 令和元年度事業計画の設定について
 - 第3号 令和元年度賦課金の徴収について
 - 第4号 令和元年度役員報酬について
 - 第5号 借入金の最高限度について
 - 第6号 債務保証の最高限度について
 - 第7号 余裕金の預入先について
- 付帯決議

来賓ご芳名（順不同）

秋田県議会議員 三浦 英一様

秋田県議会議員 佐々木 雄太様

秋田県議会議員 小野 一彦様

由利地域振興局長 代理 農林部長 佐藤 尚志様

にかほ市長 代理 農林水産建設部長 土門 保様

にかほ市議会議長 佐藤 元様

由利森林管理署長 小松 信人様

農林中央金庫秋田支店長 代理 副支店長 横田 博孝様

秋田県森林組合連合会代表理事会長 代理 参事兼森林整備課長 高橋 悟様

国立研究開発法人 森林研究・整備機構 森林整備センター 秋田水源林整備事務所長 溝口 貴幸様

公益財団法人秋田県林業公社理事長 代理 専務理事 戸部 信彦様

由利地域振興局農林部森づくり推進課長 藤田 昇様

由利本荘市長 代理 農林水産部農山漁村振興課 参事兼班長 土田 智之様

質疑応答

総代の皆様から貴重なご意見・ご質問をいただきました。その中から主な質疑をご紹介します。

【Q】今後増え続ける大径木に対して今後の見通しを聞きたい。

【A】大径木の有効活用については他組合等と連携を図りながら対応していきたい。

【Q】広葉樹の管内価格状況を教えてほしい。

【A】近年用材として需要が増えており、径級24cm以上、長さ220cm以上のものが高く売れる。逆にケヤキや栗が足踏み状態。



議長

小野勇議長



【Q】管内での浜風など風の強い場所の伐期はどのようにしたらよいのか。

【A】県などの関係機関の指導をいただき情報を集める。

【Q】平成30年度の報告を見ると50名ほど組合員が減っている。平成7年の合併当初から現在までの増減を教えてください。

【A】平成7年から現在まで721名の減である。

【Q】合併当初から700名以上も減少しており、今後も減少することが予想される中、総代数や役員の定数についての考えを聞きたい。

【A】森林組合法などを参考に検討する。

総代再選挙結果！ 第8区（大内地区）

前号にて、令和元年5月8日任期満了に伴う当組合総代選挙の結果についてお知らせしましたが、大内地区にて1名欠員が発生したため再選挙を執り行いました。その結果、総代候補者が選出すべき定数を越えなかったため無投票で総代が4月17日付で決定しました。3年間よろしく願います。

○佐々木 幸 夫（加賀沢）



職員人事異動のお知らせ

（平成31年4月1日付）

●総務課長補佐 猪股 映子
●岩城支所主事 高橋 翔子

（令和元年6月1日付）

●林産販売兼加工課長 阿部 久

●造林課長 武田 一也

●林産販売課主査 阿部 正輝

●東由利支所長 古川 暢

●東由利支所主事 草刈 賢一

●林産販売課主事 堀 啓悟

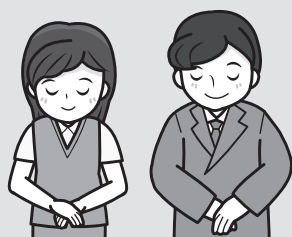
●総務課主事 本間 康太

●鳥海支所主事 佐藤 亜海

●林産販売課主事 高橋 翔子

●矢島支所臨時職員 土田多津子

よろしく
お願いします



令和元年度 造林補助事業について

今年度も組合員の皆様のご理解を得ながら森林整備事業を推進して参りますのでご協力をお願いします。
注) 下記のとおり採択要件がありますので作業前に必ず各支所にご相談ください。

1. 補助金を受けるための採択要件

下記の補助金を受けるためには、「森林経営計画の認定」が必要となります。

※ 1 施行地 0.10ha以上の実施が必要です。

所有者自ら作業を行い補助金を受ける場合

補助金申請をする際に次の写真データを提出する必要があります。

写真データの無いものは申請ができなくなりますので、作業前に必ず各支所へご連絡をお願いします。
(連絡が無く作業を進められた場合は補助金を受けることができません。)

①着手前状況写真 ②作業状況写真 ③完成後の写真 …… 面積に応じた枚数が必要。

※写真データには位置情報が必要となりGPS機能のあるデジタルカメラで撮影する必要があります。

2. 令和元年度 造林補助事業種別補助金額 (森林環境保全直接支援事業)

作業種	対象林齢	採択要件・留意事項等	補助金額(1ha当り)		備考
			組合作業	所有者作業	
植栽	スギ	・区分 (スギ)①植栽本数 1,500~1,799本 (スギ)②植栽本数 1,800~2,099本 (スギ、マツ)③植栽本数 2,100~2,499本 (スギ、マツ)④植栽本数 2,500~3,000本 ・枯損率 20%未満 ・再造林、拡大造林の区分無し ・広葉樹A: 苗高 50cm以上 ・広葉樹B: 苗高 100cm以上 ・広葉樹C: 苗高 150cm以上	561,000 ~867,000	447,000 ~692,000	※普通苗
	マツ		459,000 ~663,000	366,000 ~529,000	
	広葉樹A		1,184,000 ~1,317,000	945,000 ~1,051,000	
	広葉樹B		1,777,000 ~1,995,000	1,419,000 ~1,592,000	
	広葉樹C		2,729,000 ~3,083,000	2,178,000 ~2,461,000	
下刈	単層林: 1~7年生 複層林: 1~25年生	・1年生、2年生、樹高が2.5m以下	140,000 ~165,000	111,000 ~131,000	
雪起こし	2~15年生	・雪圧倒伏率30%(6年以上は50%)以上で採択 ・区域面積×被害率=実施面積で申請	130,000	104,000	
枝打ち	11~30年生	・仕上げ幅 2.0m未満(若齢木) 又は2.0m以上 6.0m以下 ・実施本数 100本~2,500本/ha	57,000 ~160,000	46,000 ~128,000	
除伐(刈払)	11~25年生 天然林は40年生まで	・刈払率 100%以上 ・過去5年以内に補助金を受領していないこと	98,000	78,000	
保育間伐	35年生以下又は伐採対象木の 平均胸高直径18cm未満	・伐採本数率 20%以上 ・過去5年以内に補助金を受領していないこと	46,000 ~111,000	37,000 ~89,000	
間伐	11~100年生	・伐採本数率 20%以上 ・伐採材積率 35%以下 ・標準単価 10m ³ ~80m ³ /haで10m ³ 刻み	114,000 ~372,000	91,000 ~297,000	
更新伐	11~90年生	・伐採本数率 56%以上 ・2年経過後、更新完了の確認必要	66,000 ~691,000	53,000 ~552,000	
間伐・更新伐 共通		・5ha以上の集約化かつ10m ³ /ha以上の 搬出必要 ・過去5年以内に補助金を受領していないこと ・材積が確認できる納品伝票等必要 ・間伐と更新伐あわせて5ha以上で申請可			
森林作業道	上記の作業に係わる 作業道の開設	・土構造を基本とし、繰り返しの使用に 耐えるもの ・幅員(2.0/2.5/3.0)m×地山勾配で区分 ・最急縦断勾配 30%(11.9°)/100m以内 ※路網密度150m/ha以下	637 ~1,797	509 ~1,435	m当

※間伐、更新伐の単価は選木の有無によって変わります。伐倒前に伐倒木にマーキング(選木)する場合のみ選木有りとなります。



森林環境譲与税と森林経営管理制度について

組合員の皆様の関心が高い森林環境税と新たな森林管理システムについて、由利地域振興局 森づくり推進課から情報提供いただきましたのでお知らせします。

●森林環境税と森林環境譲与税

国の温室効果ガス排出削減目標の達成や災害防止等を図るため、森林整備に必要な地方財源を安定的に確保する観点から、森林環境税が創設されました（課税は令和6年度から）。

しかし、森林現場における諸課題にできる限り早期に対応する必要があることから、「森林経営管理制度」の施行とあわせ、森林環境譲与税の譲与が平成31年度より行われます。

なお、それぞれの税の概要は次のとおりです。

森林環境税と森林環境譲与税の概要

◎森林環境税

- ・個人住民税均等割の枠組みを活用（国民全体で支える仕組み）
- ・令和6年度から課税（年額1,000円）

●森林環境譲与税

- ・「森林経営管理制度」の施行と併せ、平成31年度から譲与
- ・譲与されるのは、市町村及び都道府県
- ・主な使途は次のとおり。

市町村	・間伐（境界画定、路網整備、所有者の意向調査等） ・人材育成・担い手の確保 ・木材利用促進・普及啓発
県	・市町村により森林整備の円滑な推進のための支援

●「森林経営管理制度」とは

この制度の導入の背景には、森林が利用可能な時期に入っているのにも関わらず、長期的な林業の低迷により所有者の森林への関心が薄れ、適切に管理されていない森林が増大していること等があります。

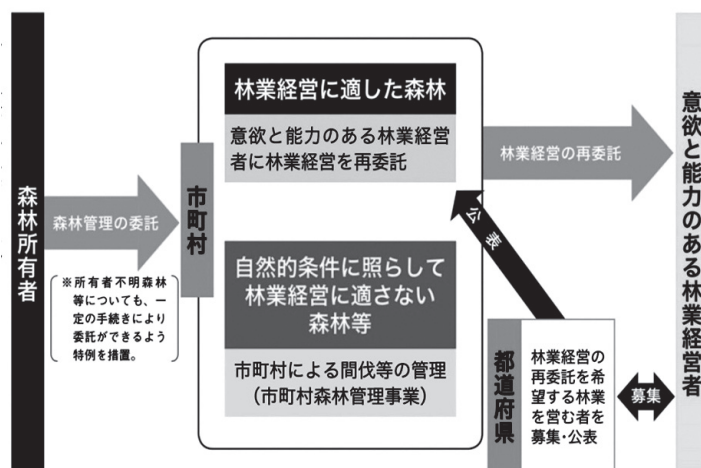
そこで、市町村は、経営管理が適切に行われていない森林について、所有者の意向を調査し、経営管理が難しい場合は、所有者から森林の管理を受託し、そのうち林業経営に適した森林については、意欲と能力のある林業経営者に集積・集約化するとともに、経営が困難な森林については、市町村が管理を行うことにより、林業としての森林経営と森林の適切な管理の両立を図る制度です。

今後の森林管理の主体として、市町村の役割が重要となりますが、県では市町村職員への研修など支援を行うこととしています。

◎制度の概要〈森林経営管理法〉

自ら経営・管理できない森林所有者の森林を市町村が集約し管理

- ①林業経営に適した森林は「意欲と能力のある林業経営者」に委託
- ②自然条件等が悪く、採算ベースに乘らない森林について市町村自ら管理



木材市況情報 (令和元年)

単位：円、上段（石当り価格）
下段 m 当り 価格

			4月3日			5月8日			6月4日		
樹 種	材 長 m	径 級 cm	本荘由利木材流通センター			本荘由利木材流通センター			本荘由利木材流通センター		
			高 値	安 値	平均価格	高 値	安 値	平均価格	高 値	安 値	平均価格
ス ギ	3.65	14下									
		16～22	(3, 066) 11, 041	(2, 915) 10, 497	(2, 976) 10, 714	(3, 051) 10, 984	(2, 918) 10, 505	(2, 953) 10, 633	(2, 800) 10, 081	(2, 800) 10, 080	(2, 800) 10, 081
		24～34	(3, 534) 12, 725	(3, 148) 11, 336	(3, 281) 11, 815	(3, 405) 12, 260	(3, 128) 11, 263	(3, 241) 11, 668	(3, 500) 12, 600	(3, 010) 10, 836	(3, 302) 11, 888
出材量・販売量・販売率			1,018㎡(3,664石)・1,005㎡(3,618石)・98%			655㎡(2,358石)・640㎡(2,304石)・97%			949㎡(3,416石)・919㎡(3,308石)・96%		

4月：原木の出材が増えたことにより、弱含みの推移。常連の量産工場と山形県勢の手当が入った。

5月：36cm上の応札がなかったものの、それ以外は完売。全般的にやや弱含みながら常連の量産工場や山形県勢の参加により高落札率。

6月：山形県勢が量をまとめ、ほとんどを落札した。16～22cmは弱含み。24～34cm材質次第ながらほぼ横ばいの推移。



新採用職員 の紹介

4月1日より新しいメンバーが加わりましたのでご紹介します。これからどうぞよろしくお願いいたします。



原田 智和

●造林課●

技能職員から事務職へ!

組合員の皆様に信頼していただける職員を目指して努力していきたいです。

技能職員



一関 優

●本所林産班●

林業大学校卒業!

林業大学校で学んだことを活かし、しっかり働いて、無事故、労災ゼロで頑張ります。

技能職員



和田 光樹

●本所林産班●

林業大学校卒業!

林業大学校での学びを活かし、精一杯頑張ります。

技能職員



齊藤 優介

●本所造林班●

高卒ルーキー!

毎日楽しく元気に作業しています。日々成長していけるように真剣に頑張ります。



林業大学校とは!?…森林・林業・木材産業に関する幅広い知識や林業機械の操作など実践的な林業技術者を育てる、秋田県林業トップランナー養成研修の愛称です。秋田市の秋田県林業研究研修センターを拠点に、林業のトップランナーをめざし、若者たちが2年間学んでいます。当組合でも卒業生が活躍しており、新しく仲間に加わった一関くん、和田くんにも期待しております。

新採用職員の皆さんの仕事の様子をちょっと拝見!!



山での作業はチームで協力! 暑さにも負けません。



天気との戦い! 安全第一で作業を行います。



林業大学校で身に付けた技術を十分に発揮してくれています。



先輩たちの指導を受けながら林業のプロを目指します!